



事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
会長：井上 修 副会長：鈴木一比古 幹事：加藤 篤 公共イメージ向上委員長：瀧谷恵二

**UNITE
FOR
GOOD**

よいことの
ために
手を取りあおう

2025-2026年度 RI会長メッセージ

よいことのために手を取りあおう

2025-2026 RI会長
フランチェスコ・
アレツツォ
<イタリア>



第1756回例会 令和7年10月21日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング それでこそロータリー 伊藤かおりソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介

- ・支援留学生 ラムザン アシャール 様 (オンライン)
- ・支援留学生 ジュ イェソン 様 (オンライン)
- ・衛星クラブ 馬場秀則会員

■ 1分間スピーチ

- ・伊藤かおり会員



今が旬のサンマのお話をしたいと思います。

伊藤家では、サンマが出始めると必ず食卓にあがるものがありました。それは「さんまごはん」です。当時うちには一升だきのお釜があり、サンマを丸ごといれて炊くという豪快な炊き込みご飯でした。焼かずに生のまま、さんまを入れて炊き、炊き上がったら、頭と骨をとり、豪快にかき混ぜます。内臓も一緒に混ぜます。今年はサンマがおいしい年です。わたしはおばあちゃんの十八番であったこのサンマごはんを思い出しつつ、みなさんにもこの時期ならではの秋の味覚を楽しんでいただけたら嬉しく思います。今の炊飯器だと丸ごととは難しいと思いますので、半分に切っておためください。最後に米工房いりぐちつたやでは随時お米のご用命も承り中です。よろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

- ・熊谷健会員



先月、次女に女の子が生まれ、長女のこと合わせて3人の孫の「ジイジ」となりました。

先週末から里帰りしていて、時々面倒をみています。孫が実に可愛いのですが、自分が父親だった時に、自分の子をこんなに可愛いと思いあやしてあげたことがあったのだろうか、思いを巡らせてみましたが、どうも記憶にありません。きっと、自分のことに一生懸命で、ゆっくりと子供の可愛さを味わったことが、そんなになかったのではないかと反省しています。

赤ちゃんの可愛さを愛でることができるのは、自分の生活に幾分余裕ができたからかなと思います。

同時に、この子が大人になったとき、日本の社会はどうなっているのだろうかということを、最近よく考えます。

私たちの世代は、きっと幸せな時代を送ってきた（戦争に直面することもなく）と思いますが、この幸せで平和な生活を、私の孫の世代へも繋げていかなければと、切に願う今日この頃です。

・ 澁谷恵二会員



ワークライフバランス発言と 2027 年の労働基準法改正

自民党高市早苗総裁の「私はワークライフバランスという言葉捨てます」という発言が、大きな議論を呼びました。この発言は、従来の働き方改革を否定し、過重労働を容認するかのように聞こえたことにあると思います。

この議論が起きた原因は、多くの人が「ワークライフバランスは仕事を減らすこと」という理解になっているからだだと思います。

日本の雇用政策が 2017 年の働き方改革から一貫して目指してきた本質は、「量」から「質」へ、「時間」から「価値」へと、日本の働き方を根本的に変えることです。長時間労働の是正は、生産性向上と価値創造に集中できる環境を整えるための「手段」であり、真の目的は、一人ひとりが自律的に、より価値の高い仕事に全力で取り組むことです。

この考えの元に、2027 年の労働基準法改正が議論されています。2027 年の法改正を、単なる法的対応ではなく、管理型から「自律型の組織文化」への変革を完成させる戦略的なチャンスとして捉え、主体的に推進していくことが必要になっていくと思います。

■ ニコニコボックス

- ◆井上修 昨日の夜から知多中央倫理法人会のナイトセミナー。今朝の1000回特別記念モーニングセミナーに出席させていただきました。朝4時半起床、眠いです。同じ会場で半田南ロータリークラブの日程が指名委員会でした。いずれも同じ秋の夕暮れ。
- ◆加藤篤 母校が来年の箱根駅伝の出場権が得られませんでした。残念です。
- ◆橋爪麻人 田中将斗委員長、本日のクラブフォーラムと本年度の寄付の除外をよろしくお願いします。
- ◆矢島宏 先のゴルフ例会 9 月 30 日ベスグロ優勝。お祝いは来年エージシュートをして。できるかな???盛大にしたいと思いますのでその時はよろしくお願いします。
- ◆田中真人 本日の米山のクラブフォーラム、よろしくお願いします。

■ 幹事報告

加藤篤幹事

幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・ 10月7日（火）地区会員増強・DEI合同委員会の報告 池上幸平地区会員増強委員



10月7日 ZOOM, によるオンライン会議 18時~19時

1、アンケート実施について

DEI 委員会にて、今年度アンケートの説明。

・参加者の意見

○会長向けとの2段階にしたほうが良い。

会長向け、年会費・国内クラブとの交流・他クラブとの奉仕活動・寄付金

会員向け、クラブ入会理由・入会以後の感想・入会後の感想・例会出席頻度・クラブ活動・会費満足度・例会満足度

○アンケートなので数値化したほうが良い、わかりやすい。

2、新入会員セミナーについて

2月開催に向けてプログラムの下書きを下村委員長に送る。内容は前年度8月に行った次第に沿って行う。参加人数は80名程度。

○9月度の委員会報告、会議に出席していないので次回に報告します。

・10月8日（水）第2回クラブサポートミーティングの報告 井上修会長

以下の衛星クラブの報告を致しましたら、古川パストガバナーより、そんなに立派に活動されているのなら、直ぐに申請されたらどうですか？と評価頂きました。

衛星クラブ

この新年度より本会会員4名（実質3名）が発起人としてスタート。あくまで準備期間としての模索という位置づけ。

本会会員は・・・火曜日の例会に出席が難しい（東京の大学教授・・・現職の自動車販売会長）の他、自ら衛星に移行し、親族、後輩を本会に入会させるという意思。

以降・・・新会員・・・8人入会。そのうちの一人は本会に移行。30代の若き教育関係経営者。現状は11名にて運営中。

この9月16日のガバナー公式訪問に合わせ、2人の新入会員が入会。ガバナーよりお言葉を賜り望外の出発となりました。例会は金曜日の夜6時より。月に二回。本会の例会に出席可能な時はビジター扱いで出席。既に数回あり。衛星クラブの任務として、衛星クラブでトレーニング期間を置き、火曜日の例会に出席できる環境に成ったら移行するという趣旨であり、既に候補の若き会員3名あり。

定款、規約、細則を国際ロータリに準拠して制作中。

徐々に活動は活発化しているが、あくまで準備期間として状況を見ながら、来年の2月に設立総会を予定し、国際ロータリーの認証を得たら6月か7月に、認証伝達式、ガバナーナイトを行いたい。

・10月12日（日）信州大学農学部創立80周年記念式典の報告 平澤理国際奉仕委員長



10月12日、信州大学農学部80周年記念事業に、加藤幹事と平澤理とで出席してまいりました。

式典の中で、本クラブは農学部国際交流活動に於いて、支援している団体としての感謝状をいただきました。



登壇ゲスト



授与式



留学生ブース

・「ロータリーの友」10月号紹介 杉本徳治会員



10月号の表紙は読者の皆様から応募いただいたお二人の作品です。

横組みの表紙は熊本県「熊本グリーンローターアクトクラブ」久保山慧美さんが実家の庭に咲き誇るマリーゴールドを水彩絵の具と色鉛筆で描いた作品です。この作品のタイトルは「Alive」です。マリーゴールドの花言葉の一つに「生きる」があります。時に雨に打たれ、時にうつむきながらも、したたかに生きていきたい思いが感じられます。また、黄色のマリーゴールドは健康の意味を持つため、敬老の日に「長生きしてね」の意味を込めて贈ることができます。

縦組みの表紙は高知県「中村ロータリークラブ」大塚和助さんが人物画を鉛筆で描いた作品です。作品のタイトルは「線のチカラ」です。現代は全てがデジタル化し、今の世の中はコンピューターに支配されるよ

うになり、スピードとか効率が求められますが、対極にある「スロー」や「非効率」も大事です。絵や書でも、人の心を感じさせる表現はコンピューターより、感じたままを直接手で描く線の方が心に響きます。もし松尾芭蕉が現代の乗り物で旅をしていたらあのような有名な俳句は生まれなかったでしょう。たまには「スロー」と「非効率」に向きあう時間も必要であると感じました。

今月号の RI 会長のメッセージは「地域社会が主導する開発とは」です。

今月は「地域社会の経済発展月間」です。持続可能で活気ある地域社会を築けるよう支援する取り組みに光を当てる機会であり、ロータリーの中核的価値観の一つである「リーダーシップ」とも完全に一致しています。ロータリーの中核的価値観とは「奉仕」「親睦」「多様性」「高潔性」「リーダーシップ」の 5 つです。「リーダーシップ」とは、ロータリーは、奉仕活動自体のみを重視する組織ではなく、人づくりの組織であるため、ロータリアンはリーダーとして自覚とそれに伴う自負が求められると書いてあります。RI 会長はロータリアンの皆さんに、地域社会における経済的「リーダーシップ」について考えてみてくださいとのメッセージです。メッセージではいくつかの例を挙げて「リーダーシップ」について説明されておりまのでお読みください。

次に「地域社会の経済発展月間」記事を紹介します。

「一献を紡いで」（酒づくりと、町づくり）と題して地域とともに歩む蔵元の社会貢献活動にスポットを当て、全国で活躍するロータリアン蔵元の紹介記事です。

タイトルに「一献を紡いで」と書いてありますが、一献とは「最初のお酒のこと、あるいはお酒を進めること」という意味です。使い方としては「お酒召し上がりますか、一献いかがですか」または「一献傾けましょう」と丁寧な言葉です。今なら「まずは一杯」となりますが「一献を紡いで」が結び付きにくい表現だと感じましたが、「地域復興はいつしか震災復興に」と題して山口県山陽小野田市にあります「永山酒造合名会社」HP の蔵主紹介にヒントがありました。タイトルに「人と人とのつながりが紡ぐ酒の物語、感動の伝達が」山口地酒維新“をおこす”と書いてあり「紡ぐ」に込められたお米を作る人、酒を造る人、販売の過程で接する人、最終的に吞んでいただく人まで全ての人が幸せになれる、そのためにも地域の農業を基盤として、地域の自慢の種を創造し、地域社会の活性化に貢献できる酒造りを行っている蔵元です。記事の内容は東日本大震災以降の福島県の風評被害払拭事業を兼ねた農業復興事業「福島 × 銀座 × 山口酒造りプロジェクト」を東京銀座 RC と福島南 RC の会員の皆様と一緒に立ち上げた酒造りプロジェクトチームです。その目的は福島産の酒米を使って永山酒造で酒を製造、販売し、福島産の酒米を全国に広める復興支援活動が今年で 10 年目を迎えました。

蔵主は小野田 RC 永山酒造の永山さんです。

「蔵の街」で新たな歴史を醸すというタイトルで

埼玉県にある日本一小さな醸造所で、平均年齢 30 歳の若き蔵人達が、歴史ある川越の地酒「鏡山」の復刻、生産に 2007 年より全力で取り組んでいます。歴史と伝統を大切にしつつ「蔵の街」唯一の酒蔵として川越の文化を発信している取り組みの紹介です。

蔵主は川越 RC 小江戸鏡山酒造の五十嵐さんです。

「天からの恵みを紡いでいくために」というタイトルで

新潟といえば「久保田」「朝日山」などを製造する朝日酒造の「天からの恵みを紡いでいくために」はその自然を守るために、40 年以上前から自然環境の指定昆虫であるホタルの保護活動を地域の皆さんと一緒に取り組み守られています。

これらの活動が契機となり、地元の小学校では「総合的な学習の時間」のカリキュラムとしてホタルに関する授業が加えられ、朝日酒造の社員さんが講師役として、ホタルの生態や育成環境について毎年授業を行っています。

「越路もみじの会」では、子供たちが故郷の自然を誇ることができ、自然を大切にする心を育てたいという思いから、もみじの苗木を育て、地域の中学 1 年生に入学記念として贈る活動をしています。

蔵主は新潟南 RC 朝日酒造の細川さんと長岡東 RC 平澤さんです。

全部の蔵元を紹介したいのですが時間の関係で最後に井上会長に深い関係のある長野県中川村にあります米沢酒造を紹介します。タイトルは伝統と革新「南信州が育んだ地酒・今錦」です。

南信州伊那谷のほぼ中央、中川村の米沢酒造株式会社は明治 49 年創業、地域に親しまれ、南アルプスの麓の自然環境と良質の水に恵まれた土地で、地元の酒米を使用した酒造りを行ってきました。造り酒屋は村の大切な伝統であり文化です。

しかし昨今、多くの酒蔵が存続の危機にあります。その伝統、文化、そして思いを残していくために伊那食品工業株式会社がバトンを引き継ぎました。これまで通り、貴重な日本の原風景を守りながら棚田での田植

えや稲刈りを村の皆様と協力し、丹精込めた丁寧な酒造りを行っていきます。

伊那食品さんは RI 会長メッセージにあります「リーダーシップ」を発揮され地域社会の経済発展に寄与した分かり易い事例として紹介しました。

酒好きロータリアン必見

全国ロータリアン蔵元リスト、北は北海道から南は沖縄まであります。

全国の酒蔵数は 1433 位あるみたいです。業界トップ 3 は京都伏見の月桂冠や宝酒造、灘の白鶴酒造です。約 95%が中小の酒蔵です。日本で最も酒蔵の数が多い県は新潟県で 88 の蔵元があります。新潟地方は冬が厳しく長いため、長期低温発酵に適しているためアッサリとした味を作りやすく、淡麗辛口といられる「久保田」「八海山」といった銘柄があります。

2 番目に酒蔵の多い県は地元長野県で 76 の蔵元があります。日本アルプの寒さと水を使って作られる「今錦」「夜明け前」「真澄」といった銘柄があります。

3 番目に酒蔵の多い県は兵庫県で 68 の蔵元があります。灘五郷と呼ばれる日本を代表する酒どころであり、ここでは「宮水」と呼ばれるミネラル水や六甲山系から吹いてくる冷たい「六甲おろし」のおかげで酒造りが盛んに行われています。

「大関」や「白鶴」など全国展開している日本酒メーカーも、いくつもあるため、生産量では兵庫県が日本一となっております。

10 月号は酒の呑めない私がお酒の話でロータリアンの皆様と紡（つむ）ぐことができれば幸いです。

■ 出席報告

会員数40名 出席免除会員4名 長欠会員1名 本日出席者（例会場）24名（ZOOM）1名
事前メイク1名 出席率74.29% 前回出席率 修正なし

■ クラブフォーラム

「米山記念奨学委員会」

田中真人米山記念奨学委員長



10 月は米山月間ということで豆辞典が配布されています。この資料でも米山記念奨学会のことは分かるのですが、本日は 2017 年製作された「ロータリー米山記念奨学会設立 50 周年記念」の DVD を見ていただきたいと思います。内容としては日本のロータリーの原点である米山梅吉生い立ちや功績、ロータリー米山記念奨学事業の特徴、学友の活躍などを紹介しています。8 年前の DVD なので既に見たメンバーもいるかと思いますが、ここ数年の間に入会されたメンバーはおそらく見ていないと思いますので豆辞典と合わせて米山記念奨学会のことを知っていただけたらと思います。

■ 点 鐘

13:30

次回例会

10 月 26 日（日） 集合／9:50 場所／名廻東古墳上広場（駐車場）

- ・地区補助金事業「犬田切川周辺環境整備事業」
- ・ポリオデー